

洪水・内水

水害について知ろう！

洪水・内水ハザードマップとは？

この地図は、鎌倉市内を流れる3つの河川（柏尾川・滑川・神戸川）がはん濫した場合に浸水する区域（洪水はん濫想定区域）と、市内の排水能力を超える大雨によって浸水が発生する区域（内水はん濫想定区域）を示しています。

洪水はん濫想定区域は、神奈川県が公表した「柏尾川浸水想定区域図（平成18年8月）」、「滑川浸水想定区域図（平成21年7月）」、「神戸川浸水想定区域図」をもとに作成し、内水はん濫想定区域は、鎌倉市が市内の排水環境を考慮し、平成16年10月9日の降雨を想定して計算した結果をもとに作成しています。

■ 基 準	柏尾川	流域平均 24時間雨量 292mm (100年に1回程度の大雨)	
	滑 川	1時間最大雨量 74mm (30年に1回程度の大雨)	
	神戸川		
■ 内 水 はん濫		1時間最大雨量 78.5mm (平成16年10月9日の降雨と同規模)	

ハザードマップで示される浸水想定区域および浸水の程度は、あくまでも想定です。浸水の程度や範囲は雨の降り方、隣接する河川の状態、高潮等により変化するため、大雨の際、常にこのハザードマップのような浸水が起きるわけではありません。

想定よりも広い範囲への浸水や深い浸水、浸水想定区域に指定されていない区域への浸水が発生する場合がありますので、ご注意ください。

洪水はん濫・内水はん濫が発生するしくみ

河川の水によるはん濫（洪水はん濫）



増水した河川の水が堤防の高さを越えて街中にあふれ出します。



堤防に水が過度に浸み込んだり、堤防が河川の流れにより侵食されて（けずられる）堤防が決壊し水があふれ出します。

河川に排水できない水によるはん濫（内水はん濫）



街中の下水道の雨水排水能力を上回る降雨により側溝等から水があふれ出します。



本川の排水が間に合わず、支川に逆流した水により、街中へとあふれ出します。